

調査団体名	福津農園	団体代表者名	松沢政満
活動地域	新城市松沢さん自宅	団体URL	なし。「福津農園」「松沢政満」検索
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>25年前まで食品会社勤めをしていた松沢さんは、代々農業を営んでいた実家に帰農。福津農園は、農薬・化学肥料などを使わず、微生物やヨシ、バイオマスなどを上手に使うことで、少量多品目の農産物を安全に生産販売している。そこは親子が安心して自然体験できる癒しの場であり、親戚のように付き合う消費者が多様多様な生物との共存を体感し、感性を養える貴重な場にもなっている。</p> <p>自然本来の力を生かして育てる不耕起直播栽培では、間引いたり、草取りしたり、耕したりする必要がない。狭い場所に、いろいろな種類の果樹や野菜類を混在させる。そうすると、特定の害虫や有害な微生物が大量発生しない。豊かな生物多様性と多様で安定した生態系が形成され、病気予防になり連作障害も起こらない。結果的に食の安全・農業の経済性が向上する。</p> <p>○果樹:カキ・カリン・ザボン・ハッサク・ミカン・ビワ・レモン等40種 ○野菜:キャベツ・ブロッコリー・カボチャ・ダイコン・ゴボウ・ウリ等50種 ○家畜:ニワトリ300羽・ヤギ(人間が直接食用等で利用できないバイオマスの循環活用の要)</p> <p>○その他:山野草(フキ・スイバ・ミツバ等)・ヨシ・アカウキクサ(鶏の餌)・米作り等 ○生きもの:多種多量のカエル・ヘビ・ゲンジボタル・ヘイケボタル・タガメ・メダカ・ドジョウ等</p> <p>「小さい面積でも、組み合わせによってたくさんの果樹・野菜などを作ることができる」…多種多様なものが育てられていて、必要ないものはない。草を生かす。</p>			
<p>&lt;連携している団体・専門家・自治体など&gt;</p> <p>みんなが集まってくる。</p>			
<p>&lt;今までに行った調査・研究&gt;</p> <p>○水田の生きもの調査(動植物) ○土壌検査:県農業試験場がデータ化 ○水田の動物・植物・土壌調査…農林水産省補助による県のプロジェクト調査が2010年から5年間実施される予定(課題名「物質循環機能と生物多様性を活用したゼロエミッション型有機稲作の科学的解明と検証」)</p> <p>○桐谷圭治編「田んぼの生き物全種リスト」「田んぼの生物の指標」等</p>			
<p>&lt;現在直面している課題&gt;</p> <p>山の拡大造林で山の生態系が変わってしまい、カメムシが農園にたくさん降りてきて多種の果実についてしまう。1つの実に10匹くらいになることもある。獣害(イノシシ・ウサギ・カモシカ・サル・ハクビシン)。</p>			
<p>&lt;今後どんな情報が必要か&gt;</p> <p>特に必要性を感じていない。満足している。しいていえば、情報発信がうまくできる場が欲しい。1ターン就農志望者の住宅確保と就農支援に行政の協力が必要。</p>			



松沢さん宅福津農園



人懐こいやぎ



鶏舎でのお話。右が松沢さん



福津農園の看板



全景。果樹あり、畑あり、水田あり(湧き水で)、竹林とその下のキノコ類あり。山野草はその場で食べた



いろいろな果樹や野菜が組み合わされている  
(柑橘類多種、その下にダイコン、フキ等・・・)